

広報誌【長報:チヨ-ホ-】

CHOHO

Vol. **29**

2009.October Autumn

Since 2002



特集

パンデミック ~ 新型インフルエンザの脅威に立ち向かう長崎大学の研究者たち ~

表紙
について

「南山手」(1982)

末永 建男

洋館や石畳の坂道など居留地時代の面影が残る長崎・南山手。しだいに失われていく長崎らしい町並みを描き残したいという作者、末永建男氏は歯科医師。開業医として活躍する一方で、画家(長崎チャーチル会幹事長、白日会会員)の顔も持っています。元長崎大学臨床教授(非常勤)。作品は歯学部へ寄贈されたものです。

